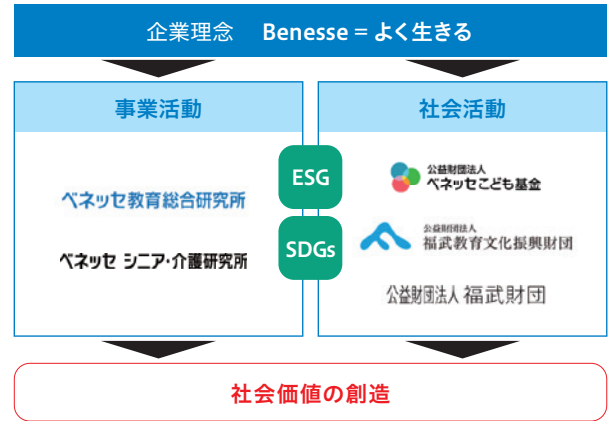


## 財団活動について ～「Benesse=よく生きる」の 実現に向けた取り組み～

ベネッセの企業理念「Benesse=よく生きる」は、事業活動だけでなく、社会活動を推進する財団のミッションにも通じるものです。2つの財団は、地域振興支援や子どもたちの支援などを通じて社会価値の創造を目指しています。

### ● 公益財団法人 福武財団

2004年に地中美術館の開館にともなって設立した福武財団(旧財団法人 直島福武美術館財団)は、2012年10月に助成事業を担う2つの財団と統合。直島・豊島・犬島を中心とした美術館事業、日本各地の文化・芸術による地域振興活動への助成事業、瀬戸内国際芸術祭などを支援する自主・共催事業の3つの事業を柱としてアート活動を進めています。



### ● 公益財団法人 ベネッセこども基金

ベネッセこども基金は、子どもが安心して学べる環境づくり、経済的困難や病気・障がいなど学びに課題を抱える子どもたちの支援、災害によって被災した子どもの学びや育ちの支援活動助成(緊急助成)などに取り組んでいます。また、課題解決支援にとどまらない、より良い社会づくりを担う子どもたちを育む学び支援にもトライしています。

## ベネッセアートサイト直島

「ベネッセアートサイト直島」は、瀬戸内海の直島、豊島、犬島を舞台に、ベネッセホールディングスが公益財団法人 福武財団と展開しているアート活動の総称で、30年以上にわたってアートを媒介とした地域づくりに取り組んでいます。

### 直島でのフィールドワークを通じた 学習プログラムを提供

「ベネッセアートサイト直島」では、学校・企業・団体向けに、それぞれの目的に応じたVTS(対話型鑑賞)を行うことにより対話・思考・プレゼンテーションを学ぶプログラムを設計・提供しています。

2021年度は、全国の学生や社会人向けに、フィールドワークなどを通じて地域の活動を学ぶプログラムや、SDGsの観点で参加者が自ら課題を発見し、解決策を考える探究学習プログラムなどを実施しました。



李禹煥「無限門」(2019)を鑑賞する小学生

### アートを用いた 介護サービスのトライアルを実施

ベネッセスタイルケアは、ホームのご入居者のQOL向上を目指したサービスの一環として、「ベネッセアートサイト直島」と共同で、アート鑑賞のトライアルを実施しました。「ベネッセアートサイト直島」が取り組んでいる鑑賞手法「VTS(対話型鑑賞)」を取り入れ、「地中美術館」所蔵のクロード・モネ「睡蓮-草の茂み」などの絵画を見ながら、感じたこと、発見したことなどを言葉にして共有することで、さらなる感情表現や、社会交流の広がりにつながる機会となりました。



ご入居者とのオンライン対話型鑑賞では「地中美術館」所蔵クロード・モネ「睡蓮-草の茂み」(1914-17)などを鑑賞